

カラ土地取上ニ必死ニナツテキル。吾々ハ小地主ノ下層（地主兼自作）ニ對シテ、マダ、ヤツキニナリスギテクダラヌ犠牲ヲ出シタリ、ソコニ鬭争力ヲ集中シタリシテキルガコレハ急速ニ改メネバナラナイ。

地主、資本家団体ニ對スル活動

イ、農會ニ對スル活動

大衆ノ不信ヲ買ツテキル農會ハ、産業組合ト同方向ニ於イテ更生ヲハカルダロウシ、村役場、産組ト同ジク地主ヤ有力者ノ支配スル組織デアリ、既成政黨ノ地盤デアル場合ニ、ソノツナガリニ於イテ追求スル。地方的事情ニヨツテハノツトリ、大地主ヘノ反別割ヲ増加シ、有利ニ使用スルコトモデキル。

ロ、産業組合ニ對スル活動

諸種ノ産業組合ハ全ク地主ノ機關デアツタガ、農業恐慌以來、地主ト中農トノ農業改良ノ機關タラシメヨウトスル意見アリ、企テ

アリ（役人、産組中央會、學者ノ一部）政府ノ助成、産組青年聯盟ノ擡頭、商業資本ノ反産組運動ガアル、從ツテ内外カラノバクロ、アチプロノ場面トシテ相當ノ意義ヲモツテキル、資本家地主ノ支配ニヨルソノ反動的機能ヲ腐蝕サセネバナラナイ。

無産者諸団体ニ對スル活動

無産階級ノ諸組織ハ夫々役割ヲモツテキル。ソノ任務ガハツキリシナケレバ夫々ノ分化モ無意味ナモノデアル。ソレガ共通ノ目的ニ向ツテキル限り、互ニ、ソノ任務ヲ生カステメニ提携スルコトヲ、大衆団体デハコトニ必要トシテキル。大衆化ト共ニ強化化トイフ、一寸矛盾シタヨウナコトガ同時ニ緊要トサレテキル昨今デアル。全農ハ、内部ノ統一強化ヲハカリナガラ、他団体ニ對シテハ極メテ廣ク、活動上ニ協力スル方針ヲトラネバナラナイ。

イ、労働組合ハ勢力弱少、分散シテキル、農民組合トシテハマコトニ残念ナコトダ。一諸ニヤラネバナラヌ問題ニツイテハ、方針ガ